

出前講座やっています(ワカメ編)

環境増養殖担当 加藤 慎治

Key word ;ワカメ, 出前講座, 小学校, 養殖体験, 種付け

水産研究所では、徳島県の水産業について広く知っていただくために、前号でもご紹介した「チリメンモンスター探し」や「小型封入容器を用いたアマモ播種」など出前講座を行っています。最近では、県内いくつかの小学校で地元漁師さん協力の下、徳島県特産「鳴門わかめ」の養殖体験を行っています。

本年度は、鳴門市の里浦小学校、阿南市の平島小学校の2校でワカメに関する出前講座を実施しました。

ワカメはノリやコンブと並んで、日本人にとってもっともなじみ深い海藻の一つです。小学生の皆さんも、普段口にすることが多い海藻ということもあって、とても興味を持って、授業を聞いてくれました。全員に配布した「もの知り図鑑(鳴門わかめ)」や「ワカメ配偶体(通称:黒マリモ)」は、特に好評で、ワカメに対する理解を深めてくれたと思います。

授業の後は、漁師さんと一緒に、種付け体験を行いました。里浦小学校では悪天候のため、学校内での作業となりましたが、初めて見るワカメの種糸におっかなびっくりしながら、作業を行っていました。海上での作業は漁師さんにお任せし、あとは収穫を待つだけです。この水研だよりが発行される頃には、立派なワカメに生長し、子供たちが笑顔で収穫していることと思います。〈BR〉

徳島県の沿岸にはさまざまな魚介類が生息し、多種多様な漁業が営まれています。今後もこのような出前講座を通じて、ワカメだけではなく、徳島県の水産業を身近に知っていただく機会を増やしていければと思っています。



写真1 ワカメ種付け体験中
漁師さんに教えてもらいながら、種付けにチャレンジしています。



写真2 ものしり図鑑(鳴門わかめ)の表紙
ほかにもハマモ、アオリイカ、エビ、タイなどがあります。
ご希望の方は水産研究所までお問い合わせください。



写真3 ワカメの配偶体
見た目は黒いマリモみたいです。